

■ 施策評価シート

施策番号	6-01-①
施策名	母子保健サービスの充実

<p>施策の概要</p> <p>子どもの健全な育成、健康増進を図り、病気等の予防・早期発見・早期対応に努めるとともに、「すこやか訪問」や家庭訪問などを通じて養育者の子育てを支援します。</p>
--

成果指標(単位)	すこやか訪問の利用率(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		98	98	98
実績値	94.9	95.8		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成25年度より0.9%実績値が伸び、窓口での周知徹底や制度の市民への浸透が図れている。他市に里帰りをした母児は、当市に戻ってから訪問を利用されている状況である。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>長期間、入院や里帰りをしている場合や、一部訪問を拒否される場合があるが、家族への聞き取りや病院との連携等により全数の母児の状況を把握している。虐待予防や養育者への早期支援のために全数把握を目標に訪問していく必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>今後も、母子健康手帳交付時のアンケートやその後の支援、またハイリスク妊産婦等、病院からの連絡により、できるだけ早期から支援を行っていく。また、すこやか訪問の手続き忘れや訪問の拒否がある家庭についても、引き続き全数把握に努める。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>保健サービスで把握できない場合、関係課への相談や申請情報等を確認する等、状況把握に努め、必要時は支援方法について関係機関とともに検討している。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
乳幼児健診事業	健康増進課	○	病気の予防や早期発見、早期対応につなげるための事業において、全健診とも95%前後の受診率がある。
新生児訪問事業 (すこやか訪問事業)	健康増進課	○	長期の入院や里帰り、訪問拒否等により訪問が実施できない場合があるが、全数把握に努めている。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
母子健康教室開催事業	健康増進課
妊婦健診事業	健康増進課
不妊・不育治療助成事業	健康増進課
未熟児養育医療事業	健康増進課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-02-①
施策名	就学前教育の充実

<p>施策の概要</p> <p>生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における教育の充実を図るとともに、幼稚園・保育所(園)で培われてきた良さや成果等を共有し、相互の連携強化と保育・教育内容の統合化に取り組みます。</p>

成果指標(単位)	幼稚園は楽しいと思っている子どもの割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		100	100	100
実績値	97	98		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>本事業の趣旨に従い、10ヶ園がそれぞれの地域の特性や園児の実態、保護者の願い等を総合的に教育計画の中に生かし、各園が特色ある教育を推進したことで、幼稚園教育の充実と共に地域・保護者の教育力が高まった。(「平成26年度 学校評価にかかるアンケート調査」による)</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>幼児期の体験的な学びが、小学校以降の学びの基礎につながっていくことを意識しながら各園が教育課程を編成し、豊かな体験活動の提供や地域の方々との協働的な活動、園独自の特色やよさを活かした幼稚園教育の実践をした。そのことで、幼児一人ひとりに「生きる力の基礎」となる、「心情」「意欲」「態度」が育った。また、教師が研究を深めたことで、資質の向上や質の高い保育につながった。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>子ども・子育て支援新制度では、就学前教育の質の向上が求められており、その基礎となるのは教職員の専門性を高めることであるので、教職員の研究の充実や研修会への積極的な参加を行い、保育内容の充実に努める。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>子ども・子育て支援新制度にかかわって、平成28年度からの認定こども園開園に伴い、3歳児保育の確保や未就園児活動・子育て支援の充実がますます求められるようになるので、市民に満足していただけるような幼児教育の創造につながるように、教職員の質の向上を確保できるような取組みを強化する。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
幼保一体化推進事業	子ども子育て推進室	○	質の高い就学前教育・保育の提供に向けて、「草津市幼保一体化推進計画」を策定した。幼保一体化ワーキング部会を設置し、平成28年4月のモデル園開園に向けた準備を開始した。幼稚園と保育所における人事交流を実施した。
公立幼稚園管理運営事業	幼児課	○	幼稚園教育の適正な環境保持のため、修繕・更新の必要な施設設備は計画的に行い、幼稚園施設の安全・安心な環境整備に努めてきた。

幼稚園ステップアップ推進事業	幼児課	○	草津市における「地域協働合校」の精神を十分に教育内容に位置づけ、各幼稚園が特色ある幼児教育の創造、教育の充実に努めることができた。「子どもが輝く教育のまちくさつ・出会いと学びのまちくさつ」の実現に大きく貢献している。
就園奨励給付・私立幼稚園保育料補助事業	幼児課	○	私立幼稚園の保護者負担軽減のため、就園奨励費・保育料補助を行った。当該事業に該当する第2子の園児について、所得制限を撤廃し、補助対象を拡大する等により負担軽減の拡充を図った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公立幼稚園運営支援事業	幼児課
幼稚園教育指導研修事業	幼児課
幼稚園保健推進事業	幼児課
就労支援型預かり保育事業	幼児課
幼稚園運営推進事業	幼児課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-02-②
施策名	保育サービスの充実

<p>施策の概要</p> <p>保育の実施により、保育児童の健全な心身の発達を図るとともに、実施体制の確保と多様な保育サービスの充実に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	保育所入所率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	96	92		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>就学前人口の増加や保育需要の高まりを受けて、前年度からの目標値(100%)には達していない。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>待機児童の解消のために施設整備により定員増を図っているものの、就学前人口の急増や保育需要の高まりが見られ、更なる入所率の改善に向けた取り組みが必要である。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>小規模保育事業の創設や公立保育所・幼稚園の認定こども園への移行等による施設整備を行い、保育需要に対応できるよう継続して入所率の向上を図る。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>待機児童解消に向けて施設整備等による定員増を図っているが、これを上回る保育需要の高まりがある。また、平成27年度より施行された「子ども・子育て支援新制度」において保育所等の利用要件が変更になったことから、更なる施設利用希望者が増加した。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民間保育所運営費補助事業	幼児課	○	保育需要の高まりおよび多様性に対応するために、補助事業を通じて市民ニーズに対応できた。
民間保育所運営事業	幼児課	○	民間保育所の保育運営を通じて、多様な保育需要に応えることができた。
家庭的保育事業	幼児課	○	低年齢児を中心とした待機児童および高まる保育需要に対応することができた。
公立保育所管理運営事業	幼児課	○	保育需要の高まりおよび多様性に対応するために、保育サービスの充実を図った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
病児・病後児保育運営事業	子ども子育て推進室
公立保育所運営支援事業	幼児課
公立保育所指導研修事業	幼児課
家庭支援活動事業	幼児課
公立保育所給食事業	幼児課
公立保育所健康管理事業	幼児課
保育料管理回収事業	幼児課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

様 式

施策番号	6-02-③
施策名	援助を要する子どもへの支援の充実

施策の概要

障害や発達の遅れのある子どもの日常生活や学習がより充実するよう、一人ひとりにきめ細かい支援を行います。

成果指標(単位)	発達支援センター相談者数(人)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	1,130	1,180	1,230
実績値	1,078	1,021		

成果指標実績に対するコメント

相談者の所属別で見ると、就学前の保育所、幼稚園等からの相談者数は増加したが、小、中学校や高校では減少した。このことは発達に支援が必要な子どもの早期発見、支援が進み、地域の関係機関との連携が進んできたためと考えられる。

施策の達成度評価

就学前の5歳相談については、1年を通して実施し、配慮する点を小学校へ引き継ぐなど、スムーズな就学につながるように支援した。児童発達支援センターの地域支援として障害児相談支援の事業所指定を受けて、身近な地域での相談支援体制の整備を行った。

評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方

- ・早期療育の充実のため、発達課題に応じた効果的な療育を行う。
- ・乳幼児から青年・成人期まで関係機関と連携しながら継続した相談支援を行う。
- ・障害福祉サービスの適切な利用のために障害児支援利用計画の作成を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成27年度より、障害福祉サービスを利用するすべての人に対して、支給決定時に障害児支援利用計画等が必要とされたため、相談支援事業所の整備が求められた。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
発達支援センター運営事業	発達支援センター	○	乳幼児から青年・成人期までの相談支援に取り組み、障害児相談支援に係る体制整備を行った。
湖の子園運営事業	発達支援センター	○	子どもの発達状況に応じたクラス編成を行い、きめ細やかな療育を行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
障害児通所給付事業	発達支援センター
育児等健康支援事業	発達支援センター
特別支援教育推進事業	幼児課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-02-④
施策名	保育所(園)・幼稚園の施設整備

<p>施策の概要</p> <p>安全で安心な保育環境を確保するとともに、質の高い幼児教育・保育を実現するための環境整備に取り組みます。</p>

成果指標(単位)	保育所定員(名)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		2,605	2,730	2,860
実績値	2,545	2,605		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>私立認可保育所の施設整備により、60名の定員増を図った。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>保育需要推計に基づき定員増を行ったものの、推計を上回る保育需要が見込まれるため、平成26年度には、保育所整備に加え、小規模保育事業の新規開設を行うなど、特に需用が高い低年齢児の定員拡大を図った。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>平成27年度から平成31年度までの計画となる「子ども・子育て支援事業計画」の中で保育ニーズに対応した確保策に基づき、必要な施設整備等を行い、待機児童の解消を図る。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
公立保育所施設整備事業	幼児課	○	草津第二保育所および第三保育所の耐震補強他工事を行うなど、必要な施設整備を行い、安全で安心な保育環境の充実に努めた。
民間保育所施設整備事業	幼児課	○	私立認可保育所における施設整備により定員の拡大が図られた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-03-①
施策名	児童育成クラブの充実

<p>施策の概要</p> <p>子どもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所の確保のため、児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。</p>

成果指標(単位)	児童育成クラブ入会率(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		100	100	100
実績値	96.7	95.9		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>児童育成クラブの定員の増加を行ったが、児童数の増加と保護者ニーズの高まりを受けて前年度からの目標値(100%)には達していない。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>待機児童解消のために、各児童育成クラブにおいて、弾力運用や近隣公共施設の利用等で入会者の増を図っているものの児童数の増加や保護者ニーズの高まりが見られ、更なる入会率の改善に向けた取り組みが必要である。また、クラブ運営の充実のために、指導員研修会や交流会等を開催し、指導員の専門性の向上を図った。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>民設児童育成クラブの開設や(仮称)老上第二小学校内への(仮称)「のびっ子老上第二」の開設を進め、保護者ニーズに対応できるよう継続して入会率の向上を図る。また、引き続き、放課後の安全安心なクラブ運営となるよう、指導員研修会や交流会等を開催し、指導員の専門性の向上を図る。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>待機児童解消に向けて施設整備等による定員増を図っているが、これを上回る保護者ニーズの高まりがある。また、平成27年度より施行された「子ども・子育て支援新制度」において放課後児童育成クラブの利用要件が変更になったことから、さらに利用希望者が増加した。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童育成クラブ運営事業	子ども子育て推進室	○	待機児童対策を実施するとともに、指導員の研修等により、安全・安心なクラブ運営に努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-04-①
施策名	子ども・子育て支援、ネットワークの充実

施策の概要	
子育てに関する不安や負担感の軽減を図るため、「子育て支援センター」や「つどいの広場」を開設し、交流の場や情報の提供に努めます。また、地域における子育て支援を充実するため関係団体等とのネットワークを構築します。	

成果指標(単位)	ファミリー・サポート・センター活動件数(件)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		3,453	3,679	3,832
実績値	3,316	3,951		

成果指標実績に対するコメント
ファミリー・サポート・センターの活動が定着し年々活動件数が増加してきている。また、子育て支援センターやつどいの広場の利用者が増加している。さらに、子育て支援機関とのネットワークや事業間の連携を図ることによって、子育て応援サイトの情報を充実させ多くの子育て世代への情報提供と活用を促した。なお、成果指標の目標値は草津市子ども・子育て支援事業計画において設定した目標値に変更している。

施策の達成度評価
ファミリー・サポート・センターのサービス提供者の増員に努めた。また、玉川中学校区に新たにつどいの広場を開設し、各中学校区に子育て支援施設を整備することができた。

評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方
引き続きファミリー・サポート・センターのサービス提供者の増員に努める。また、子育て支援機関とのネットワークや事業間の連携などを継続しながら、子育て応援サイト「ぼかぼかタウン」等の情報発信機能の強化を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
子ども・子育て支援法施行に伴い、子ども子育て支援やネットワークの充実に対する機運が高まった。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
つどいの広場事業	子ども子育て推進室	○	つどいの広場の新設ができるとともに、年々利用者が増加しており、子育て支援に繋がっている。
子育て支援センター運営事業	子ども子育て推進室	○	年々利用者が増加しており、子育て支援に繋がっている。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て支援会議運営事業	子ども子育て推進室
児童福祉援護事務	子ども家庭課
児童館運営事業	子ども子育て推進室
子育て支援事業	子ども子育て推進室
家庭教育推進事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-04-②
施策名	児童虐待の防止と早期発見・早期対応

<p>施策の概要</p> <p>児童虐待の防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、子どもとその家族の安心できる生活のための支援として、必要な相談体制の充実や関係機関等の連携を強めます。</p>

成果指標(単位)	児童虐待相談対応件数(件)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		435	458	484
実績値	406	536		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>平成26年度の児童虐待相談対応件数は前年度より32%(130件)増加した。増加要因として、①関係機関との連携の強化により、虐待通告や養護相談件数が増加していること、②家庭児童相談室が相談窓口であることが定着し、地域や市民の虐待問題等の関心の高まりを背景に、様々なところで通告や相談に結びついていると考えられる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>児童虐待の予防と早期発見の重要性の認識が高まるなかで、家庭児童相談の充実、関係機関との連携強化を図った。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>児童虐待防止については、要保護児童対策地域協議会を軸に各関係機関とより連携して取り組む。また、児童虐待等相談窓口を広く周知し、市民に虐待防止にかかる啓発活動を推進する。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
家庭児童相談指導事業	子ども家庭課	○	平成26年度に家庭相談員を1名増員し、相談体制の充実を図った。
養育支援ヘルパー派遣事業	子ども家庭課	○	支援の必要な家庭にヘルパー派遣を行い、ヘルパー利用延時間数は前年度比で85%増加した。
育児等支援家庭訪問事業	子ども子育て推進室	○	訪問対象世帯の9割以上の家庭に訪問を行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て短期支援事業	子ども家庭課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	6-04-③			
施策名	ひとり親家庭等への支援の充実			
施策の概要				
ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制、日常生活の支援や経済的支援などを充実します。				
成果指標(単位)	高等職業訓練促進給付費受給者の就労に結びついた割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	100	100		
成果指標実績に対するコメント				
高等職業訓練修了者は3人で、全員が資格を活かし就労された。				
施策の達成度評価				
ひとり親家庭の自立支援のため、相談・支援業務の充実を図り、資格取得訓練給付等各種施策を推進した。				
評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方				
ひとり親家庭の所得水準は低い状態であることから、今後とも高等職業訓練等、自立支援に向けた施策や就労を中心とする相談業務を推進する。				
施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項				

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
母子家庭福祉医療助成事業	保険年金課	○	資格異動の届出や受給券の年次更新の際に助成要件を精査したうえで、助成対象となる方に適正に助成を行った。
児童扶養手当給付事業	子ども家庭課	○	支給の対象となる方に、適正に支給できた。
母子生活支援施設入所事業	子ども家庭課	○	DV等を受けている母子を施設に入所させることができ、母子の支援・自立を図ることができた。
ひとり親家庭等支援事業	子ども家庭課	○	母子や父子、寡婦の相談・支援により、生活の安定を図った。
母子家庭等就業支援事業	子ども家庭課	○	母子家庭等の自立支援のため、相談業務を行い、資格取得訓練給付等を推進した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
母子家庭等福祉医療事務	保険年金課
助産施設入所事業	子ども家庭課
母子福祉活動費補助金事務	子ども家庭課
母子寡婦福祉資金貸付事業	子ども家庭課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要

■ 施策評価シート

施策番号	6-04-④
施策名	子育てに伴う経済的負担の軽減

<p>施策の概要</p> <p>児童手当の支給や乳幼児福祉医療費、小中学生入院医療費の助成などにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。</p>

成果指標(単位)	年間出生数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		1,381	1,426	1,472
実績値	1,327	1,263		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>第5次総合計画の開始年度である平成22年度以前から出生数が増加しており、施策の成果が表れている。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>よい結果につながっていると考える。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>子育て世帯の経済的負担の軽減のため、引き続き適切な助成や手当の給付を進める。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>他の施策や条件も合わせて、親世代にとって総合的にすみやすいまちであると捉えられ、出生数の増に影響を与えているのではないかとと思われる。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
乳幼児福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行った。
小中学生入院医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行った。
児童手当給付事業	子ども家庭課	○	支給の対象となる方に、適正に支給した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
乳幼児福祉医療事務	保険年金課
特別児童扶養手当給付事務	子ども家庭課
児童手当および特例給付事務	子ども家庭課
子育て世帯臨時特例給付事業	臨時給付金推進室

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。